



INFORMATION

1

2022 April

2022年度予算編成方針について

2022年度予算編成方針は、法人の予算編成方針に基づき、2021年10月7日の大学
予算委員会および大学評議会で審議のうえ決定されました。この方針に基づき予算編成
を行い、一層の研究環境の維持・充実を進めてまいります。なお、予算の詳細について
は次号に掲載予定です。

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とし
て、世界をリードする諸外国の研究大学は、価
値創造の中核としての役割をさらに高め、社会
改革を牽引する機関へと進化している。そのよう
な環境下での、世界と伍する研究大学の実現に
向けた大学ファンドの創設は、大学やそれを取り
巻く環境に対する国の強い危機感と大なる期
待の表れで、多くの大学がその動向を注視して
おり、ガバナンスや事業戦略・財務戦略、教育研
究環境のあり方が改めて問われている。本学は、
自らを成長させることがより良い社会の構
築に必要不可欠であるとの信念の下、創立者の
意志を受け継いで良心教育を実践し、社会で活躍
する人物を世に送り出し続けなければならない。

学校法人により一層のガバナンス改革が求めら
れる中、本学は「同志社大学ビジョン2025
」躍動する同志社大学」(以下「ビジョン」とい
う)及びその中期行動計画が学校法人同志社
の中期的な事業計画の主軸であることを認識
し、自律的に遂行しなければならない。これまで
の成果や進捗状況を踏まえつつ、コロナ禍を経て

「ニューノーマルへのチャレンジ」の要素を取り入れた
中期行動計画と、年度ごとに進める事業との連
関性をより強く意識し、同志社大学創立
150周年記念事業への取り組みを含め、本年
度の予算編成を進める。

教学面では、コロナ禍の経験により改めて見出す
ことができた、対面授業とネット配信授業それ
ぞれの利点を学生が最大限享受できるように、よ
り快適で充実した情報環境を意識し、また、安
心して対面授業を実施できる教室等の整備を進
める。また、数理・データサイエンス・AI教育プ
ログラムの推進、国際主義の深化に向けたアーモ
スト大学やチュービンゲン大学との緊密化、教育
研究プラットフォームにおける研究活動推進や若
手研究者が研究活動に専念できる制度運用等、
新たな取り組みを精力的に進めなければならない。
教育研究環境の面では、インフラ系情報システ
ムのリプレースを通じて情報環境の層の充実を
図る。また、寧静館及び育真館改築等工事を進
め、新図書館改築工事に係る設計を行うとともに
に、スポーツコンプレックス建設事業及び京田辺キャ

ンパスリニューアル建設事業について検討する。さら
に、教学施設設備及び研究装置設備に加え、情
報環境の整備に係る第2号基本金を組み入れ
る。学生支援の面では、コロナ禍による経済情勢
の影響を踏まえながら、同志社大学奨学金及
び同志社大学大学院奨学金制度を有効に実
施するとともに、奨学事業の充実化に向け、同
志社大学奨学金基金の継続的な組み入れを行
う。大学運営の面では、ダイバーシティ推進を含
め、SDGsに貢献する取り組みの可視化に努
めるほか、より効率的な業務遂行の観点からの
情報環境整備にも取り組む。

収入面では、学生生徒等納付金について、学
部では本年度を含む過去4年間の推移も見な
がら、入学定員通りの入学者数を見込み、安定
的な財源を確保する。また、入学志願者の安定
的確保や補助金、寄付金、受託事業収入など
外部資金の増収について、引き続き積極的に取
組んでいく。

支出面では、人件費は新規採用を含む所要
額を計上するが、業務の点検、見直し等を行い、

人材派遣や業務委託に係る経費も含めた、いわ
ゆる総人件費は原則として前年度予算の範囲
内とする。また、物件費については、重点事業項
目を含め、全体として抑制を図る。さらに、教育
研究費については、教育環境改善費予算及び国
際化戦略特別経費予算は前年度と同様の基
準により計上するほか、繰越予算については具体
的な事業実施計画に基づく効果的な執行を
推進する。

なお、ビジョンにおいて目標に掲げている収支均
衡予算編成に向けては、とりわけ経常勘定にお
ける支出超過の改善は急務であり、教育研究環
境の維持・充実に取り組むための財源について
は、学費支弁者の負担だけではなく、既存事業
の見直し等、支出抑制により確保する必要があ
る。については、経常的経費に係る支出抑制策を強
化するとともに、過年度の予算執行状況を精査
し、予算の効率的活用を検証の上、予算を編成
する。また、大規模建設事業については、中・長期
的な施設設備整備計画に基づき、その他既存の
施設設備の整備については、安全管理面において
緊急性の高い事業を最優先としつつ、キャンパスの
快適性にも配慮の上事業を厳選し予算を計上
する。

以上の方針のもと、予算における計画性を重
視し、安定的な収入確保としての定員通りの入
学者数確保と限られた財源を効率的に配分
することを大原則として2022年度予算を
編成する。

財務部 経理課



2022年4月 同志社大学新島塾 第4期開塾

文理の垣根を越えたリーダー養成教育プログラム

同志社大学では、良心教育を継承しながら、文系と理系の垣根を越え、総合知を備えた次の時代を担う人物を養成するための新しい教育プログラム「同志社大学新島塾」(以下「新島塾」)を2019年度に開塾いたしました。新島塾では、学生の皆さんの意欲と能力を在学中に可能な限り伸ばし、それぞれの学問分野の専門性を身につけるだけにとどまらず、リーダーシップとフォローシップを兼ね備えた人物の養成を目指しています。

いかに時代が移り変わろうとも、人に寄り添って真摯に意見を汲み取り、全体を見渡して、他者や組織を最善の方向に導くことができる人物は、多様性と寛容に満ちた豊かな社会を築く上で欠かせない存在です。

新島が「人を植ゆる」という言葉に託したものの、「一人一人大切ナリ」という言葉に込めたものが、新島塾にはあると信じています。

塾生の皆さんが互いの「良心」を信頼し合い、真剣で自由な、そして人格的な知的交流を重ねることで、互いに切磋琢磨できるものと大いに期待しています。

同志社大学新島塾 塾長
(同志社大学 学長) 植木 朝子

入塾対象等

対象者	本学学部2年次生(出願・審査時は学部1年次生)
入塾期間	学部2年次から始まる通算2年間
定員	20名(1学年につき)
修了証	塾長(学長)から「新島塾修了証」を授与します

特徴

POINT1	新島塾独自のプログラムが受講できます!
POINT2	潜在力の顕在化に向けた基礎トレーニングです!
POINT3	各界のリーダーから直接学ぶことができます!

新島塾オリジナルサイト
(学びのかたちの新展開)



同志社大学新島塾
<https://next.doshisha.ac.jp/index.html>

Instagram 始めました
@neesimajuk_official



日頃より同志社大学の教育・研究ならびに学生に対する支援の取り組みにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。当募金事業は中長期ビジョンの推進の他、経常的な取り組みである学生への奨学金給付や課外活動支援、施設設備整備に関する募集も行っています。今後も同志社大学の学生が学びを諦めることなく、安心して学生生活を送れるよう皆様からのご理解とあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

VISION 2025の推進

- ①リーダー養成プログラムの運営支援
- ②グローバル化の促進支援
- ③高大接続プログラムの展開支援

寄付累計金額
1,184,142,093円
(2017年10月1日～
2022年2月28日の累計)

「特定寄付奨学金」としていただいたご寄付を原資として、コロナ禍の影響等により経済的に困窮した学生に対し、奨学金(同志社大学奨学金、修学特別支援奨学金)を給付しています。2021年度の実績は採用者数241名、採用金額合計7,970万円です。

奨学金給付

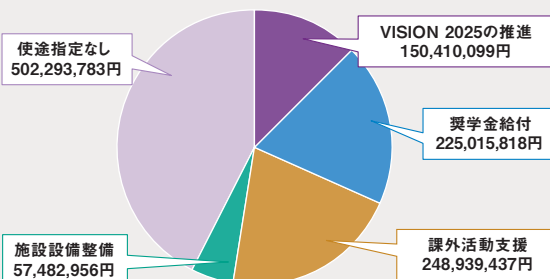
- ④特定寄付奨学金
- ⑤育英型奨学金

課外活動支援 ※大学の公認団体のみ

- ⑥体育会、スポーツ活動の充実資金
- ⑦文化系公認団体活動の充実資金

施設設備整備

- ⑧今出川校地図書館
- ⑨新学生寮 ※募集は2020年度末まで



詳しくはALL DOSHISHA 募金サイトをご覧ください。

ALL DOSHISHA 募金

検索



お問い合わせ先

同志社大学 学長室 募金課 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL:075-251-3230 FAX:075-251-3097 Email:ji-bokin@mail.doshisha.ac.jp



INFORMATION

2

2022 April

①所属 ②職名 ③主な担当科

新任教員紹介



加藤 大生

(カトウ ヒロキ)

- ①文学部
- ②助教
- ③日本文学講読(近現代C)



前田 朋美

(マエダ トモミ)

- ①文学部
- ②助教
- ③西洋美術史概説(2)



石田 隆太

(イシダ リュウタ)

- ①文学部
- ②助教
- ③西洋古代中世哲学史(1)



Stefanie Alexa STADLER

(ステファニー アレクサ スタドラー)

- ①文学部
- ②教授
- ③Speaking A I



倉見 智亮

(クラミ トモアキ)

- ①法学部
- ②教授
- ③税法 I



三吉 勉

(ミヨシ ツトム)

- ①社会学部
- ②助教
- ③産業関係基礎論



阿部 康人

(アベ ヤスヒト)

- ①社会学部
- ②准教授
- ③コミュニケーション論



小野セレスタ 摩耶

(オノセレスタ マヤ)

- ①社会学部
- ②准教授
- ③児童・家庭福祉論



佐竹 壮一郎

(サタケ ソウイチロウ)

- ①法学部
- ②助教
- ③政治学入門



阿部 亮子

(アベ リョウコ)

- ①法学部
- ②助教
- ③政治学入門



村瀬 健太

(ムラセ ケンタ)

- ①法学部
- ②助教
- ③リーガル・リサーチ



沼本 祐太

(ヌモト ユウタ)

- ①法学部
- ②助教
- ③統治の原理 II



久納 誠矢

(クノウ セイヤ)

- ①商学部
- ②准教授
- ③企業金融論



迫田 さやか

(サコダ サヤカ)

- ①経済学部
- ②准教授
- ③経済政策 2



長澤 勢理香

(ナガサワ セリカ)

- ①経済学部
- ②准教授
- ③比較社会経済史



林 秀鳳

(リン シュウホウ)

- ①法学研究科
- ②助手



猿田 冬樹

(サルタ フユキ)

- ①商学部
- ②助教
- ③ビジネス・トピックス



國枝 陽輔

(クニエダ ヨウスケ)

- ①商学部
- ②助教
- ③ビジネス・トピックス



澤田 雄介

(サワダ ユウスケ)

- ①商学部
- ②助教
- ③簿記学 I・II



福本 俊樹

(フクモト トシキ)

- ①商学部
- ②助教
- ③経営組織論



溝渕 英之

(ミゾブチ ヒデユキ)

- ①商学部
- ②准教授
- ③経済学



蒲原 智也

(カンバラ トモヤ)

- ①文化情報学部
- ②助教
- ③プログラミング入門



阿部 真人

(アベ マサト)

- ①文化情報学部
- ②助教
- ③ペイズ統計



王 嬌

(オウ キョウ)

- ①総合政策科学研究科
- ②助手



小林 塁

(コバヤシ ルイ)

- ①政策学部
- ②助教
- ③アカデミック・スキル 1



増渕 あさ子

(マスブチ アサコ)

- ①政策学部
- ②助教
- ③政策トピックス



土屋 吉史

(ツチヤ ヨシフミ)

- ①スポーツ健康科学部
- ②助教
- ③スポーツ健康 外国語講読 I



祝迫 恵子

(イワイサコ ケイコ)

- ①生命医科学部
- ②教授
- ③外科学概論



鄭 雨萌

(テイ ウメ)

- ①理工学研究科
- ②助手



西村 慎之介

(ニシムラ シンノスケ)

- ①理工学部
- ②助教
- ③高分子化学



眞田 英毅

(サナダ テルキ)

- ①文化情報学部
- ②助教
- ③社会調査入門



FUKUSHIMA Marcelo

(フクシマ マルセロ)

- ①グローバル・コミュニケーション学部
- ②准教授
- ③World Economy and Business



津田 裕之

(ツタ ヒロユキ)

- ①心理学部
- ②助教
- ③環境心理学



津田 菜摘

(ツタ ナツミ)

- ①心理学部
- ②助教
- ③心理的アセスメント



神原 広平

(カンバラ コウヘイ)

- ①心理学部
- ②助教
- ③心理学的支援法



藤村 友美

(フジムラ トモミ)

- ①心理学部
- ②准教授
- ③精神生理学



NECHAEVA Angelina

(ネチャエフ アンゲリナ)

- ①グローバル・地域文化学部
- ②助教
- ③ロシア語インテンシヴ I



坂本 南美

(サカモト ナミ)

- ①グローバル・地域文化学部
- ②准教授
- ③グローバル地域文化導入セミナー



倉科 一希

(クラシナ イツキ)

- ①グローバル・地域文化学部
- ②助教
- ③南北アメリカ地域の歴史 7



MOUTON Ghislain Philippe Gontrand

(ムントン ジェラン フリッパ ゴントラン)

- ①グローバル・コミュニケーション学部
- ②助教
- ③Communicative Skills in French I, II



諏訪 暁

(スワ アキラ)

- ①グローバル・コミュニケーション学部
- ②助教
- ③Special Topics in Cultural Issues 1



石黒 安里

(イシグロ アンリ)

- ①アメリカ研究所
- ②助教
- ③20世紀のユダヤ教演習



安 昭炫

(アン ソヒョン)

- ①グローバル・スタディーズ研究科
- ②助手



三牧 聖子

(ミマキ セイコ)

- ①グローバル・スタディーズ研究科
- ②准教授
- ③アメリカの外交と政治



南川 文理

(ミナミカワ フミノリ)

- ①グローバル・スタディーズ研究科
- ②教授
- ③多文化社会アメリカ



David TARANCO

(ダビド タランコ)

- ①グローバル地域文化学部
- ②助教
- ③スペイン語インテンシブI



本多 千明

(ホンダ チアキ)

- ①免許資格課程センター
- ②准教授
- ③社会科教育法1・2



関口 寛

(セキグチ ヒロシ)

- ①人文科学研究所
- ②准教授



森 良弘

(モリ ヨシヒロ)

- ①ビジネス研究科
- ②教授
- ③イノベーションマネジメント



吉田 悦章

(ヨシダ エツアキ)

- ①ビジネス研究科
- ②教授
- ③Finance



金子 奈穂子

(カネコ ナオコ)

- ①脳科学研究科
- ②教授
- ③病態脳科学入門



西村 周泰

(ニシムラ カネヤス)

- ①研究開発推進機構
- ②特定任用研究員(准教授)



八木 雅之

(ヤギ マサユキ)

- ①研究開発推進機構
- ②特定任用研究員(教授)



桒 太一

(マス タイチ)

- ①ハリス理化学研究所
- ②助教



山口 洋介

(ヤマグチ ヨウスケ)

- ①免許資格課程センター
- ②助教
- ③発達と学習の心理学



森口 洋一

(モリグチ ヒロカス)

- ①免許資格課程センター
- ②准教授
- ③社会科・地理歴史科教育法



平 光佑

(タイラ コウスケ)

- ①研究開発推進機構及び文学部
- ②特別任用助手



伊藤 優樹

(イトウ ユウキ)

- ①研究開発推進機構及び生命医科学部
- ②特別任用助教
- ③知覚認知



畦地 裕統

(アゼチ ヒロツグ)

- ①研究開発推進機構
- ②特定任用研究員(助教)



松原 耕平

(マツバラ コウヘイ)

- ①研究開発推進機構
- ②特定任用研究員(助教)



尾崎 弘展

(オサキ ヒロノブ)

- ①研究開発推進機構
- ②特定任用研究員(准教授)



和田 昌也

(ワダ マサヤ)

- ①研究開発推進機構及びグローバル地域文化学部
- ②特別任用助手



高橋 侑里

(タカハシ ユリ)

- ①研究開発推進機構及びグローバル地域文化学部
- ②特別任用助手



西川 和樹

(ニシカワ カズキ)

- ①研究開発推進機構及びグローバル地域文化学部
- ②特別任用助手



廣光 佑哉

(ヒロミツ ユウヤ)

- ①研究開発推進機構及びスポーツ健康科学部
- ②特別任用助手



西尾 天志

(ニシオ タカシ)

- ①研究開発推進機構及び生命医科学部
- ②特別任用助手

政策学部
岩島 史助教
松本 明日香助教

商学部
石田 信博教授
小澤 リリ子助教
松本 宗谷助教
王 睿助教

経済学部
西村 卓教授

法学研究科
ALAS MORENO
NANCY EUNICE 助手

法学部
河村 博教授
田中 治教授
松本 浩延助教
益田 高成助教

社会学研究科
遅力 裕助手

社会学部
竹内 長武教授
埋橋 孝文教授

社会学部
塚田 雄一准教授

文学部
庭田 茂吉教授
山田 史郎教授
D. Randa-
TERHUNE 准教授

文化情報学部
妹尾 麻美助教

理工学部
東 信行教授

スポーツ健康科学部
高木 俊助教
西牧 未央助手

心理学部
竹島 康博助教
嶋 大樹助教

脳科学研究科
貴名 信行教授

グローバルスタディーズ
研究科
Daniel Eric
MCKAY 准教授
MUCHETU
GRANGARAI 助手

グローバル地域文化学部
Robert J. CROSS 教授
Irina MENKOV 教授
植松 茂男教授
Estina OTMAN 准教授

グローバル・コミュニケーション学部
山本 妙教授
竹田 宗継教授

グローバル地域文化学部
Robert J. CROSS 教授
Irina MENKOV 教授
植松 茂男教授
Estina OTMAN 准教授

社会学部
高木 俊助教
西牧 未央助手

社会学部
塚田 雄一准教授

文学部
庭田 茂吉教授
山田 史郎教授
D. Randa-
TERHUNE 准教授

文化情報学部
妹尾 麻美助教

理工学部
東 信行教授

スポーツ健康科学部
高木 俊助教
西牧 未央助手

心理学部
竹島 康博助教
嶋 大樹助教

社会学研究科
貴名 信行教授

政策学部
岩島 史助教
松本 明日香助教

商学部
石田 信博教授
小澤 リリ子助教
松本 宗谷助教
王 睿助教

経済学部
西村 卓教授

法学研究科
ALAS MORENO
NANCY EUNICE 助手

法学部
河村 博教授
田中 治教授
松本 浩延助教
益田 高成助教

社会学研究科
遅力 裕助手

社会学部
竹内 長武教授
埋橋 孝文教授

社会学部
塚田 雄一准教授

文学部
庭田 茂吉教授
山田 史郎教授
D. Randa-
TERHUNE 准教授

文化情報学部
妹尾 麻美助教

理工学部
東 信行教授

スポーツ健康科学部
高木 俊助教
西牧 未央助手

心理学部
竹島 康博助教
嶋 大樹助教

退職教員

2022年3月31日付で、
次の先生方が退職されました。



2022 April

「ゼミで学ぶ 魅力を語る」

幅広い領域の専攻から数多くのゼミがある本学。

それぞれ、どんなことを学んでいるのか。

ゼミ教員が、個性豊かなゼミの魅力を語ります。

自らが持った興味や
感じた疑問点から出発し、
考える力を養い、楽しく勉強する



グローバル・
コミュニケーション学部 教授

カク ウンキ
郭 雲輝 ゼミ

Unki Kaku

私のゼミでは、現代中国語の語彙・
文法及び言語と文化との関係につい
て研究しています。

基礎演習3では、秋学期からの
SAに向けて必要な知識を習得
し、留学先の地域と大学を念頭に
置きつつ、中国の伝統と現状・風習
と文化などについて、調べたことを報
告し合い、ゼミ全体の討論を通じて
認識を深めていきます。専門演習1
では、一年間のSAを通して特に関
心を抱いた事象を確認して、関連す
る論文や書籍を読んで、関連文献・
資料の調査を行います。専門演習
2・3では、普段中国語を学ぶ過程
で、またSAの期間中に持った興味
や感じた疑問点から出発し、自ら卒
業研究テーマを設定して調査考察
をさらに進め、最終的に卒業研究論
文を仕上げます。ゼミではなるべく
中国語を使うようにしており、中国

人の生活スタイルなど、留学経験を生か
しつつ中国の言語や文化について
考察するよう指導しています。

ゼミ生の声(岡田 ひろなさん)

私たちのゼミでは「現代中国の言
語・文化」を学んでいます。ゼミで発表
する際、発言しやすい空気感があり、ゼ
ミの仲間と共に知識を増やしていくこ
とができるので、文法が得意な人にとっ
ても苦手な人にとっても居心地が良く
伸び伸びと学習できるゼミだと考えて
います。また定期的に縦コンが開催され
るので、留学前や就職活動など不安な
時に質問できる場があり、とても心強
かったです。

法的思考+αで、
「なぜ？」を育む
「土」を肥やす



法学部 教授

かじやまたまか
梶山 玉香 ゼミ

Tamaka Kajiyama

法学部のゼミは、2年生の秋学期から始
まります。私は民法の教員ですから、ゼミで
は、「二応」、売買、担保、相続といった民法上
の問題を扱います。

「二応」と書いたのは、例年、私のゼミを履
修する学生は、必ずしも民法に関心がある
とは限らないためです。テーマを決める際
は、しばしば「民法でなければいけませんか」
という質問が出ます。そのたびに、「また……」
と苦笑するのですが、決して、嫌な気分には
なりません。世の中の事象は、法の枠内で生
じているわけではありませんから、興味関心
が特定の分野に取まらないのは、むしろ、自
然なことです。ゼミでは、意識的に、LGBT
など、「旬の話題」を取り上げるよう心がけ
ています。

授業や暮らしのなかで見つけた「なぜ？」
を、それぞれの「土」で育てる……ゼミは、その
「土」を多方向から耕し、肥やす場です。ゼミ
での議論、時にはたわいのない雑談の中に、
ヒントがあります。そうして、自分なりの
「土」を作りあげれば、それは、社会に出て
も、重宝するでしょう。
ゼミには、よく、卒業生が顔を出します。

出張のついでに、ふらっと立ち寄りたり、休みの
日に、ほかの同期生を誘って参加したり……で
も、OB・OG組織は作っていません。卒業生
には、法曹(公務員、研究者のほか、企業(法
務ではない)で活躍する人も多く、作家、漫
画家、ミュージシャン、医者までいます。この
「群れない」ところ、「法学部らしくない」と
ころを、ちょびり誇らしく思っています。

ゼミ生の声(西村 龍人さん)

「うちのゼミは学生がやりたいことをやり
ます。なので皆さんが主体的に取り組めば楽
しいゼミに、もし主体的に取り組まなくても
それなりに楽しいゼミになると思います」
僕がはじめにゼミに入った際に言われて
印象的な言葉です。僕たち24期は全員
主体的に取り組み、なかなか楽しいゼミを
行っています。梶山ゼミを一言で表すと「主
体性と知識を深掘りできるゼミ」となる
と思います。法律の知識だけでなく、それ
以外の、普段は必要ないような知識まで
得ることができるゼミです。

「法律は身近なところにある。でも法
律の知識だけではなく、様々な知識から
様々な検討をするべき。」こういった指導の
おかげで、ゼミの卒業生は様々な進路に進
んでいるのだと思います。今後も梶山ゼミ
で知識を増やしていきたいと思っています。

learning objects of Seminars

母語以外の言語習得の メカニズムとは



文学部 教授

あかまつ のぶひこ

赤松 信彦 ゼミ

Nobuhiko Akamatsu

私のゼミでは、「ひとは母語以外の言語をどのように習得するのか」について、幅広い視点から考察しています。学生は、英語で書かれた専門書や学術論文を読み進める中で、第二言語習得や外国語学習に関する理論や実践を学び、卒業論文で取り組む研究テーマを徐々に絞り込んでいきます。その際、一番気をつけていることは学生の興味を尊重することです。最後まで諦めずに研究に取り組むためには、その基盤に好奇心がなければなりません。と考えているからです。

まり学習することも、このゼミの特色です。このような、ゼミの仲間とともに学んだ経験が卒業後の人生の糧になればと願っています。

ゼミ生の声

(無記名アンケート調査結果の一部)

「個々がテーマに対してしっかり向き合い、意見交換を通して理解をより一層深め合えるゼミ」「学生同士の仲が良く、先生も気さくな方で、授業と息抜きとをメリハリつけて楽しむことができるゼミ」「『多様性』を大切にしているゼミ」「みんな熱心で、自分も頑張ろうと思える仲間の多いゼミ」「言語教育を多面的に学べて、自分の視野を広げられるゼミ」「先生と学生の距離が近い、アットホームなゼミ」「知的好奇心を共有議論するとともに、温かく見守ってもらえるゼミ」

「ことばの音」を研究する



文化情報学部 助教
音声学・音韻論研究室

たなか ゆう

田中 雄 ゼミ

Yu Tanaka

本研究室は「ことばの音」を専門としています。私たちが普段会話をする時、口で音を発し、耳でそれを聞いています。また、これらの音は、高さや並び方などについての複雑な規則性を持ち、様々な印象をもたらします。このような、言語の発音、聞き取り、規則性、印象などについて、データを分析して研究するのが、音声学・音韻論です。

トの違い、略語の規則性、オノマトペの印象、カンボジア人の日本語の聞き取りについてなど、様々なテーマがありました。

3年次には「ジョイント・リサーチ」という演習系の授業で、文化情報学部他の研究室と合同でグループでの実験的研究を行います。現在は、心理学系の教員とともに、ネーミングにおける音の印象を扱っています。例えば、あるキャラクターや商品について、どのような音を持つ名前がそのイメージに合うのかを、心理言語学実験を通して検証します。

4年次には「卒業研究」で、各学生が独自のテーマを設定して研究を行い、卒業論文を執筆します。ことばの音に関するあらゆるものが、研究対象となります。例えば、過去の卒業論文では、若者言葉の平板化アクセント、方言のアクセントの多いもの、略語の規則性、オノマトペの印象、カンボジア人の日本語の聞き取りについてなど、様々なテーマがありました。

研究室の特徴は、「ことばの音」という目に見えないものを、いろいろな方法でデータ化して分析するという点です。データの収集には、多くの場合実験を用います。研究室にある防音ブースでは、録音、聞き取り、印象判断の実験を行います。また、近年はオンラインでの実験も積極的に取り入れています。収集したデータは、数値にして統計的に分析します。文化情報学部には、実験心理学や統計学を専門とする研究室もあり、異なる分野を横断して研究を行うには、最適な環境です。

学生への指導では、仮説を立てて検証するという姿勢と、わかりやすく説明するという一点に重点を置いていきます。大学生の多くは、将来研究者になるわけではありませんが、このような科学的研究を行う経験というのは、今後の人生にもきっと役に立つと思います。そして何より、「ことばの音」の研究を楽しくしてもらいたいと思っています。

ゼミの特徴の一つに、学生によるグループ発表やディスカッションを中心においた授業が挙げられます。発表を担当する学生に対しては授業外で個別に指導を行います。授業は学生の自主的な運営のもとで進められます。また、グループ発表の準備や勉強会等、授業以外にも学生が自主的に集

「個々がテーマに対してしっかり向き合い、意見交換を通して理解をより一層深め合えるゼミ」「学生同士の仲が良く、先生も気さくな方で、授業と息抜きとをメリハリつけて楽しむことができるゼミ」「『多様性』を大切にしているゼミ」「みんな熱心で、自分も頑張ろうと思える仲間の多いゼミ」「言語教育を多面的に学べて、自分の視野を広げられるゼミ」「先生と学生の距離が近い、アットホームなゼミ」「知的好奇心を共有議論するとともに、温かく見守ってもらえるゼミ」



INFORMATION

4

2022 April

本学教員の 執筆図書紹介

(価格は税込)

中小企業政策論

関智宏 編集責任
関西学院大学出版会 3,960円

憲法判例コレクション

松本哲治 他編著 有斐閣 2,970円

食品免疫学事典

市川寛 他編著 朝倉書店 13,200円

現代アメリカ教育 ハンドブック 第2版

山田礼子 他著 東信堂 3,960円

デジタル信号処理における システム最適化技術

桂井麻里衣 他編 オーム社 3,960円

情報通信工学

岩井誠人 他著 オーム社 2,970円

女性たちで子を産み 育てるということ

岡野八代 他著 白澤社 1,980円

新・コンメンタール 刑法 第2版

十河太郎 他著 日本評論社 3,740円

学修成果の可視化と 内部質保証

山田礼子 他編著
玉川大学出版部 3,740円

日本古典文学の研究

趙智英 城阪早紀 他著 新典社 10,340円

クィア・シネマ・スタディーズ

菅野優香 編 菅野優香 他著
晃洋書房 2,530円

教養としてのアメリカ研究

松本明日香 他著
大学教育出版 2,200円

〈キャラクター〉の大衆文化

佐野明子 他著
KADOKAWA 2,750円

ポスト・グローバル化と 国家の変容

吉田徹 他著
ナカニシヤ出版 3,630円

法の理論 40

鬼頭葉子 濱真一郎 他著
成文堂 4,180円

古典文学をどう読むのか

勝山貴之 他著 新典社 2,090円

日本とアジアの 民主主義を測る

池田謙一 編 池田謙一 他著
勁草書房 3,850円

なぜ、イスラームと 衝突し続けるのか

内藤正典 著 明石書店 2,420円

テキストブック地方自治 第3版

市川喜崇 他著
東洋経済新報社 3,080円

論集泉鏡花 第六集

田中勲儀 他著 和泉書院 7,700円

生活形式と脆弱性

ANNE GONON 他編著 萌書房 1,760円

はじめての憲法学 第4版

大島佳代子 他著 三省堂 2,970円

ヘイトスピーチ規制の

最前線と法理の考察

檜垣伸次 他編著 法律文化社 3,520円

知財のフロンティア 第1巻

山根崇邦 他編著 浅野有紀 他著
勁草書房 6,050円

知財のフロンティア 第2巻

山根崇邦 他編著 河島伸子 他著
勁草書房 5,720円

コンメンタール教育基本法

大島佳代子 横田光平 他著
学陽書房 6,600円

自動車室内の静粛性向上と、 防音・防振技術、材料の開発

廣垣俊樹 他著
技術情報協会 88,000円

ミトコンドリアダイナミクス

市川寛 他著
エヌ・ティー・エス 53,900円

脱領域・脱構築・脱半球

圓月勝博 他著 小鳥遊書房 5,280円

ワークライフ・ インテグレーション

中村艶子 他編著
ミネルヴァ書房 3,520円

室町文化の座標軸

山田徹 他著 勉誠出版 10,780円

包括的な支援体制の ガバナンス

永田祐 著 有斐閣 4,290円

西太平洋連合のすすめ

鈴木絢女 他著
東洋経済新報社 2,860円

メタファー：心理療法に 「ことばの科学」を取り入れる

武藤崇 他監訳 星和書店 3,300円

手塚治虫は 「ジャングル大帝」に どんな思いを込めたのか

竹内長武 著 ミネルヴァ書房 3,850円

ナターシャの踊り上

中野幸男 他訳 白水社 5,280円

ナターシャの踊り下

中野幸男 他訳 白水社 5,500円

所得税をめぐる紛争の 特質とその解釈論

田中治 著 清文社 9,900円

租税実体法の諸相と論点 所得課税

田中治 著 清文社 7,700円

租税実体法の諸相と論点 相続税、消費税、地方税

田中治 著 清文社 8,580円

租税手続法の諸相と論点

田中治 著 清文社 9,350円

欧米圏デジタル・ ヒューマニティーズの 基礎知識

山中美潮 他編 文学通信 3,080円

南北朝内乱と京都

山田徹 著 吉川弘文館 2,970円

北に渡った言語学者

板垣竜太 著 人文書院 4,950円

社会福祉行政 新版

畑本裕介 著 法律文化社 3,520円

事例研究行政法 第4版

曾和俊文 他編著
佐伯祐二 横田光平 他著
日本評論社 3,850円

国際関係と法の支配

浅田正彦 他編著 兼原信克 他著
信山社 33,000円

音響学の展開

秋山いづき 他著 コロナ社 4,620円

憲法秩序の新構想

松本哲治 他著 三省堂 8,250円

マイクロデータからみる 現代中国の社会と経済

厳善平 著 勁草書房 5,500円

中欧・東欧文化事典

月村太郎 他著 丸善出版 24,200円

新型コロナ感染の 政策課題と分析

内藤徹 他著 日本評論社 5,390円

現代アメリカ社会を 知るための63章

落合明子 他編著 明石書店 2,200円

オモニがうたう竹田の子守唄

板垣竜太 他編
インパクト出版会 3,300円

移民のヨーロッパ史

穂山洋子 他監訳
東京外国語大学出版会 3,520円

民法学の継承と展開

佐久間毅 他著 有斐閣 22,000円

運動としての大衆文化

佐野明子 他著 水声社 7,150円

判例民事訴訟法入門

川嶋四郎 編 川嶋四郎 園田賢治 他著
日本評論社 2,860円

イランの核問題と国際法

浅田正彦 著
東信堂 1,100円

英語上達40レッスン

菅原真理子 他著
朝倉書店 3,080円

外来植物が変えた 江戸時代

佐野静代 著 吉川弘文館 1,870円

毛沢東時代の経済

厳善平 他著
名古屋大学出版会 5,940円

イギリス帝国史

水谷智 他訳 昭和堂 2,970円

米中の経済安全保障戦略

村山裕三 編 村山裕三 他著
芙蓉書房出版 2,750円

ケア宣言 相互依存の政治へ

岡野八代 他訳 大月書店 2,420円

中世禅の知

GAETAN RAPPO 他著
臨川書店 3,190円

日本社会の移民第二世代

兒島明 他著 明石書店 6,490円

憲法演習サブノート210問

松本哲治 御幸聖樹 他著
弘文堂 3,190円

租税の存在理由と 租税法律主義の現代的意義

田中治 著 清文社 9,350円

同志社人

訪問



コロナ禍で無観客開催となった東京2020オリンピック。男子エペ団体の金メダル獲得に勇気を得た人も多いだろう。喜びに沸くチームの中で、ひとときクールだった宇山さん。体育会ヨット部の篠原璃音さんがその競技生活への想いと、強さの秘密を聞いた。

篠原 璃音さん

生命医科学部医情報学科
4年次生（2022年卒業）
体育会ヨット部

東京2020オリンピック
フェンシング男子エペ団体
ゴールドメダリスト

宇山

Satoru Uyama

賢さんに

聞く

学生の主体性を信頼する、
それが同志社の体育会

篠原 もう何度も聞かれていることと思いますが、金メダルが決まった時のお気持ちは？

宇山 それは正直なところ、ホッとした、という気持ちでした。長い時間をかけて準備してきて、コロナでさらに1年延びて、その間、自分に対してストレスをかけ続けてきたので。他の3人は喜びを爆発させていましたが、僕はむ

しろ解放感に浸っていたかもしれません。だから、実感がわいてきたのは、翌日の記者会見の時です。金メダルの価値って、ほかの人が判断してくれることだと思っんですよ。やっぱりオリンピックってすごいんだな、金メダルってすごいんだな、と。

篠原 すごくと思います！宇山さんは学生時代にも、全日本学生選手権3連覇や全日本選手権での優勝を経験されています。同志社でのどんな日々がそういう戦績に結びついたのか、とても興味があります。

宇山 賢さん

—2014年 商学部 卒業—





宇山 居酒屋……ですかね。

篠原 っ……！

宇山 中学生や高校生っていうのは、コーチや指導者の言うことを聞くしかないですよ。で、指導者の方も自分が知っていること、教えられることを、教えるしかないわけです。そこに、中学生や高校生の限界があるんだと思います。同志社のフェンシング部にも、もちろん指導してくださる方はいらっしゃいますが、その枠を超えていくこともできるんです。篠原さんもヨット部で活躍されてきたのでよくご存じだと思いますが、同志社の体育会の活動は教育の二環とされていますよね。トレーニングの方法や試合での戦術も、学生が自分で考えるのが基本です。世界のトップがどうやっているのか、何を考えているのか、自分たちで情報を集めて、仮説を立てて、トライする。PDCAを回していく感じでしたね。

篠原 フェンシング部の人、みなさんがそういう考えで練習に取り組んでいたのですか？

宇山 そういうことも含めて自由なので。いろんなキャラクターがいていいし、それと同じ型にはめないと、同志社らしいところだと

思うんです。僕の同期の主将は不器用ながらも情熱のあるタイプで、勢いでみんなを引っ張っていく。よし、毎日走るぞ、おー、みたいな。副将だった僕は正反対で、情報を集めてみんなを説得していくタイプ。ネチネチ系ですね（笑）。なので、授業や練習が終わってから居酒屋に集まって、発泡酒と無限キャベツで延々と話し込んでいたわけです。そんな日々でした。

不確定要素の多い競技ほど、考える力が試される

篠原 あ、それで居酒屋（笑）。でも、PDCAを回していくというお話には納得です。私の周りでもそういう人の成長スピード



今回の同志社人

Profile 宇山 賢さん

1991年香川県生まれ。中学校入学と同時にフェンシングを始める。2014年同志社大学商学部卒業後、大手家具メーカーに就職。2015年8月、JOCがトップアスリートの就職を支援する制度「アスナビ」を活用して三菱電機に入社。最近の主な戦績は、2017年7月世界選手権ドイツ大会個人エペ 7位、同10月ワールドカップスイス大会団体エペ3位、2018年8月アジア大会団体エペ優勝。東京2020オリンピックのフェンシング男子エペ団体で金メダル獲得。

と思います。よくよく聞くと、中学生の部員が少ないから新入部員が欲しい、という状況だったらしいです。

篠原 それでも、中学・高校と6年間、フェンシングを続けられたんですね。

宇山 足が速い、瞬発力がある、などといったフィジカルを競い合う競技だったら、すぐに辞めていたと思います。運動、苦手だし。でも、フェンシングは体力や運動神経だけでは勝負がつかないんです。対人競技だから駆け引きが大事だし、不確定要素も大きい。僕でも勝てるかもしれない、と言った兄は、正しかった（笑）。

篠原 お兄さんのおかげですね（笑）。ヨットも不確定要素の大きい競技で、天候の急変など、瞬時に判断して対処しなければならぬ場面がたくさんあります。

宇山 だからこそ面白いんですよ。不確定要素の大きい競技は、勝ち続けるのは難しいけれど、取り組む角度は無限にある。その面白さは、大学で主体的にやるようになって本当に実感しました。

人との繋がり、感謝の気持ち を戦う力に変える

篠原 競技生活で壁に当たったときは、どうやって乗り越えてこられたのですか？

宇山 頼れる人の存在が財産です。コロナ禍で身に染みた人も多いと思うんですが、一人だと不安ばかりが肥大してきますよね。自

分ばかりが損をしている、みたいなネガティブな感情に支配されがち。だから、できるだけいろんな人と繋がろうとすることが大事です。自分の考え以外の選択肢を与えてくれる人が財産です。特に同志社のOB会は強力です。知見もあるし、人脈も広くて深い。

篠原 うちのOB・OGのみなさん、本当に

面倒見が良くて、頼りがいがありますよね。

宇山 大学4年間の取り組みが濃密だからでしょうね。その中で、もつとこうやれば良かった、みたいな思いもあつて、それを現役生に還元していきたい、と考える。それが代々繋がっていくわけです。オリンピックもきつと同じですね。最初はごく少数の人たちが始めたマイ

ナーな大会だったと思うんです。でも、それに関わる人たちがその価値を高め、広げていくて、選手たちもそれを理解してバトンを繋いでいったから、今のオリンピックがある。

篠原 私はこの4月から就職して、バリバリ働くつもりなんです。一方で、ヨットの世界大会に出場する権利も保有しています。仕事とスポーツの両立について、なにかアドバイスをいただませんか。

宇山 世界大会を目指すなら、仕事の面では同期の人に後れをとるかもしれませんね。そこは上司なのか人事の人なのか、相談してリカバーすることを考えた方がいいと思います。僕も出社するたびに、後輩が自分の知らない業務をこなしているのを見て、後ろめたいやら申し訳ないやら。その分、結果を出さなければ、といういい意味でのプレッシャーを自分にかけていましたし、引退後は僕なりの経験を活かして貢献したいと思っています。

篠原 試合の結果で会社に貢献している、とも言えるのでは？

宇山 でも、アスリートが所属している会社をお財布のように考えるのは間違いだと思うんです。その会社がアスリートを採用するため、どんな人がどう動いてくれたのか、どういう経緯で、どういうプレゼンをしてくれたのか。どう予算を確保して、自分の伝票をどう処理してくれているのか。そういうことは、ちゃんと知っておいた方がいい。会社のいろんな部署の人たちが、自分を支えてくれているという感謝の気持ち、それは自分の戦う力になつて返ってくるはずですよ。

「金メダルの価値？」

それは周りの人が

判断してくれることです」



取材を終えて

宇山さんへの取材の中でのキーワードは「人との繋がり」だと感じました。壁にぶつかったときは周りの人々と話し視野を広げることで乗り越えることができ、逆に誰かに関われば結局は自分に返ってくる、という信念に感銘を受けました。東京オリンピックへ向けて活動をされる中で、周りの方々への感謝の想いと共に戦う、これこそが宇山さんの強さの秘訣なのだと学びました。私も体育会ヨット部での活動を通して、部活動の仲間やOB・OG、大学の友達などたくさんの方々に助けられ、多くの繋がりに支えられました。ひとりではなかったからこそ強くなったと改めて感じます。今年から社会人となりますが、人との繋がりを大切に、多くの人と関わり合いながら成長していきたいと思います。

Interviewer 篠原 璃音さん



生命医科学部
医情報学科
4年次生(2022年卒業)
体育会ヨット部

〔ヨット部での戦績〕

- ・2020年度全日本学生ヨット個人選手権大会スナイブ級(通称インカレ個人戦) 4位
- ・2021年度全日本学生ヨット個人選手権大会スナイブ級(通称インカレ個人戦) 4位
- ・2021年度全日本学生ヨット選手権大会(通称インカレ団体戦) 総合 4位
- ・2021年全日本スナイブ級ミックスヨット選手権 優勝

My Purpose 挑戦する人

池邊 亮輔さん

神学部 神学科

3年次生

※学年は取材時の学年

高校時代、国際協力活動を通じてロビイングに参加し、民間の活動の重要性に気付く。大学入学と同時にNPO法人Mielka（ミエルカ）へ。2020年4月より代表を務める。

京都から政治を
もつと、身近にしたい



インタビュー動画も
チェック



選挙を「見える化」 意志決定の ハードルを下げる

選挙は私たちの代表者を決める、生活や社会を良くするために欠かせないものだ。しかし日本の国政選挙における投票率は低い。この現状を変えるため、さまざまな活動を通じて政治選挙・投票への関心を高めようとする団体がある。NPO法人「Mielka（ミエルカ）」池邊亮輔さんはその代表を務める。「政治を『じぶんごと』に思ってもらうためのイベントプロジェクト・事業を展開しています。

例えば、YouTubeを通して選挙の仕組みを解説したり、議員の方と学生が居酒屋やカフェで気軽に交流できる場を設けたり。普段は政治に興味を持つきっかけを提供し、選挙が近づいたら臨時啓発として投票率向上につながる企画を実施しています」

ミエルカが自信を持ってリリー

スするのが、独自サービス「JAPANCHOICE」だ。各政党の公約比較、与党政党の公約実現度、自身の考えに近い政党のマッチングなどがグラフィカルに示され、直感的に理解することができると「投票行動学において『選挙に行くには、投票に行くメリットがそのコストを上回らなければならない』とされています。コストの中で特に大きいのが情報を得るコストです。『政策を見てください』と言われても、多くの人は忙しくてそんな時間ありませんよね。政治情報を二元的に集約した分かりやすいプラットフォームがあれば、意志決定に掛かるコストを抑えることができます。

私たちはこのサービスを、社会に求められているものと確信してつくっています」

取り組みに賛同するメンバーも増え、今年度より東京での活動も始まる。一方で、池邊さんは地方にも目を向ける。「政治を考える民間の団体は、ほとんどが東京にあるんです。ミエルカは京都に本部を置く団体とし

て、地方選挙を扱っていきたい。地方選挙は選挙結果が自分の生活にダイレクトに影響するため、政治に関心を持つ入り口として重要視しています」

日本の学校教育では、政治の仕組みを学ぶことはあっても、自分の価値観がどの政党に近いのかをすり合わせるようなことはしない。身近な問題を政治の問題と捉えることもあまりない。政治が身近になることは、多くの若者が待ち望んでいることだろう。政治は政治家のためにあるのではなく、私たち一人ひとりのためにある。池邊さんは、使命感に燃えている。

選挙の仕組みを分かりやすく解説する動画制作の打ち合わせをするミエルカのメンバー

